



Rによる統計分析入門



講 座 概 要

- ・本講座では、無料で利用することのできる統計解析ソフトRを用いた統計分析の方法について学習します。
- ・Rを用いた演習が含まれるため、受講の際にはRおよびRStudioがインストールされたWindows PCをご用意ください。
- ・Zoomを用いてオンラインで開講します。
- ・本講座の受講にあたっては、2021年10月に開講される「Rで学ぶ統計学の基礎」をあわせて受講する（あるいは、Rの操作方法を含む同等の内容を事前に学習しておく）ことを要件とします。

※各回の講義内容（下記）は一部変更になる場合があります。

※本講座は社会情報学部の履修証明プログラム「社会人のためのデータ解析」の科目としても開講されます。「社会人のためのデータ解析」Webサイト：<https://www.si.gunma-u.ac.jp/program/>

実施責任者：情報学部 准教授 蔦島 修治

□講義日程

日 程		講 義 内 容	講 師
第1回	11月6日(土)	10:30~12:00 【イントロダクション】 推測統計の重要性および調査観察データを扱う上での多変量解析の必要性について説明する。	情報学部 准教授 蔦島 修治
		12:40~14:10 【推測統計学の基礎】 母集団と標本の関係、および推測統計学の基本的な考え方について説明する。	
		14:20~15:50 【独立性の検定】 統計的検定の基本的な考え方について説明する。また、クロス表にもとづく2変数の独立性の検定の方法（Rを用いた分析を含む）について説明する。	
		16:00~17:30 【平均の差の検定】 Rを用いてt検定（2つの集団間における平均値の差の検定）および分散分析（3つ以上の集団間における平均値の差の検定）の演習を行う。	

第2回	11月13日(土)	10:30~12:00	【平均の差の検定】 Rを用いてt検定(2つの集団間における平均値の差の検定)および分散分析(3つ以上の集団間における平均値の差の検定)の演習を行う。
		12:40~14:10	【重回帰分析】 Rを用いて重回帰分析の演習を行う。また、重回帰分析において複数の独立変数を用いる上での注意点と対処法について説明する。
		14:20~15:50	【データ分析の演習】 実際の社会調査データを用いて統計分析の演習を行う。
		16:00~17:30	【分析結果の報告】 分析結果の報告会を行う。 ※受講者多数の場合は、希望者のみ発表を行う。